



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

日常の学校生活から

学校生活の大部分は授業、業間の時間、休み時間、清掃時間などの日常の生活です。保護者の皆様や地域の皆様に、児童の日常の学校生活を見ていただく機会はありません。今号では児童の日常生活の一端について紹介いたします。



4年算数の授業の様子

左の写真は4年算数の授業の様子です。いろいろな考え方で問題を解いていました。それぞれが異なる考え方で問題に向かっています。一斉に指導することが難しい場面です。

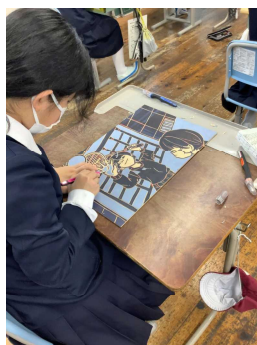
3人の指導者が3人の児童について指導をしています。少人数学級の本校の特色の一つです。通常、学校では1人の指導者が大勢の児童を指導する一斉指導が行われていますが、本校では一斉指導の中で、写真に見られるような個別指導を行うことができます。一人ひとりのつまづきにすぐに対応できるのです。



2年国語の授業の様子

左の写真は2年国語の授業の様子です。自分でお話を作る学習をしていますが、この時間はパソコンを使って清書していました。写真にあるようにペイントソフトを使って絵を描き、出力したお話に貼り付けていました。4月以来、ICT機器の活用を推進してきましたが、全学年において日常の授業で使うことが増えました。

これと並行して、タイピングの技能を向上させる取り組みをしています。キーボー島アドベンチャーというサイトのIDを全児童分取得し、ゲーム感覚でタイピングに取り組んでいます。また、個別学習に適したサイトへのアクセスが可能になりました。今後、ますます活用場面を拡大していきたいと考えています。



6年図工の授業の様子

左の写真は6年図工の授業の様子です。版画の彫りに取り組んでいます。白くしたい部分を彫刻刀で丁寧に彫っていました。人物の眉や目など細かい部分は黒く残すところを彫ってしまわないようにしなければなりません。

現在、全学年が版画に取り組んでいます。学年が上がるほど構図や彫り方、白と黒のバランスに工夫が見られます。できあがりを楽しみます。1月に県の版画コンクールに出品することになっています。